

令和6年3月1日発行



# しお通信

第161号

発行者 レオグループ

## 季節の変わり目にはご注意ください。

寒暖差激しい時期になり、暖かい春が待ち遠しい季節です。

今後は、気候も良くなりお出掛けされる方も多くなって来ると思いますが、まだまだコロナウイルス感染症とインフルエンザが流行しております。

重症化を防ぐ為、65歳以上の方、持病をお持ちの方に向け、秋のコロナワクチン等予防接種の呼びかけが政府より始まっておりますので、ご協力をお願い致します。

現在は、面会制限等を強化しておりますが、状況により変更させて頂く事も御座いますのでご理解の程宜しくお願い致します。

気温差が激しい時期ですので、皆様体調をくずされませんようお元気でお過ごしください。

株式会社レオ・ソリューションズ 代表取締役 小杉



## スタッフの声 -第21回-

ぬくもりの家こころ西神戸 新井 久範 所長より「ぬくもりの家こころ西神戸」のご紹介

皆様こんにちは。「ぬくもりの家こころ西神戸」の新井と申します。

当住宅には現在約60名の方がご入居されており、男女比率は「男性1：女性3」となっております。ご入居されている方の介護度も様々で、自立の方から、少数ですが要介護4や5の方も中にはおられます。

当住宅の特徴としては居室数が80以上と大型であること、それに伴い自立もしくは介護度の低い方も多くおられることが1つ挙げられます。

入居者様同士、仲良さげに会話をされている様子を毎日見かけます。

居室の中にはお値段は高くなりますが、キッチン・お風呂付きの広い部屋もあり、緊急時のナースコールといった設備や、ヘルパーが24時間常駐しているといった、普通の家には無い安心感を得ながらにして自立度の高い生活を送る、といった選択肢も取ることが出来ます。

周辺には病院や買い物施設も充実しており、坂を上らず平坦な道のみ、わずか170mでコープデイズ様へ買い物に行くこともできますし、伊川谷病院様へも平坦な道のみ、わずか350mでたどり着く距離にございます。

もちろん介護の必要な方も安心してご入居していただける環境がございます。  
ヘルパーによる介護はもちろん、この1月より訪問看護ステーションが当住宅の中に開設いたしました。  
訪問看護を利用するには別途要契約ではありますが、同じ建物内に医療スタッフがいるという安心感も感じていただけたと思います。

居室は現在も空きがございますので、お知り合い等々で介護を検討されている方がおられましたら、是非とも当住宅をご紹介いただければ幸いです。  
今後とも皆さまに満足していただける環境づくり及び、サービスの提供に邁進して参りますので、何卒よろしくお願ひ申し上げます。

## 小倉常務のコラムコラム 「いい日旅立ち」



3月に入り暖かい日と寒い日が交互にきて体調を崩しがちですがいかがお過ごしでしょうか。まさに三寒四温という言葉がぴったりですが、もともとの三寒四温は中国からきた言葉で、今頃の季節ではなく冬の気候を表した言葉だったそうですが、日本の冬にはそういった言葉がなじまず、この2月末から3月初旬の春先の気候に用いられるようになったそうです。

3月のイベントはたくさんありますが、まず思い浮かぶのが3月3日のひな祭りですね。元々はイベントではなく無病息災を願う厄払いの意味がある行事だったそうですが、江戸時代京都御所で大々的なひな祭りが開催されそれが庶民に広まり段を組んで人形を並べたり豪華になっていったそうです。

今では毎年各地でいろいろなひな祭りイベントが開催されていますが、徳島県勝浦市では「ビッグひな祭り」というイベントがあり、高さ約8メートルのピラミッド状の特大ひな壇にたくさんのひな人形が展示されその数約3万体制だそうです。また同じ勝浦と名の付く千葉県勝浦市や和歌山県那智勝浦町でも同様のイベントが行われるようになったそうです。この数万点のひな人形ですが、イベントのために買い集めたものではなく、各家庭で飾られなくなったひな人形を受け入れお雛供養を行いそれをビッグひな祭りに飾るのだそうです。3月は卒業や異動など、お別れや旅立ちを思わせる季節ですが、各家庭から旅立ったひな人形が、ビッグひな祭りでたくさんの人と新たに出会う。卒業や異動で新たな春を迎える人たちへのエールのようなそんなイベントですね。

